

久保田城 秋田県秋田市千秋公園 1-39

秋田藩主佐竹氏は、常盤源氏の流れをくむ名門、佐竹氏 12 代の居城であり慶長七年(1602)に出羽国へ国替えとなった佐竹氏 20 万 5 千石の居城で複数の廓を備えた平山城。築城は慶長八年(1603) 年五月に開始され、翌年の八月には初代藩主佐竹義宣が城に入り旧領主秋田氏の居城であった湊城は破棄されました。しかし、義宣が湊城から居を移した後も城普請は続けられ完成したのは寛永八年(1631) 頃といわれています。久保田城の特徴は、石垣がほとんどなく堀と土塁を巡らした城であることと、天守閣をはじめから造らなかったことが挙げられる。天守閣を造らなかったのは、国替えによる財政事情や幕府への軍役奉仕、徳川幕府への遠慮などが原因であると考えられていますが、鉱山開発、新田開発、殖産興業など財政立て直しに努力した(説明版、旅コト資料 300 藩①)。



濠



黒門(石垣はない)



説明版



本丸表門



御物頭御番所



本丸跡地



秋田藩最後の藩主佐竹義堯



佐竹氏略図



御隅櫓



長坂門跡で深い堀がある(大人の身長ほぼ2倍)